

※入退会連絡や城館の情報は白石まで！

紀州古城館情報

■ 京城跡公開見学会 9月29日日曜13時(受付12時半) 解散15時

＞ 集合 紀宝町大里 大里多目的集会施設集合 レクチャーの後京城跡見学

＞ 雨天時 小雨決行 注意報・警報発令時中止 会費 500円(保険料など) 申し込み不要。

どなたもご参加いただけます ※中止判断は前日夜8時にします 白石まで問い

合わせるか会員MLを御覧ください。

同日9月29日(日) 会内鶴殿城見学会 10時紀宝町鶴殿の烏止野神社前集合。

鶴殿城見学後に京城へ移動する場合、弁当などを昼食として持参するほうがよいと思われる。

古城館交流会

9月28日(土) 13時半から フォルテワジマ6階フロンティアセンターB

テーマ「教えます 城跡の写真の撮り方、新しいアプリ・ソフトで城館からの可視域の見方、赤色立体地図の使い方、文献の調べ方」などなど。役に立つ城館研究の基礎を伝達します。

申し込み不要。

和歌山城二の丸北辺櫓の復元

白石博則

先号で紹介したように、和歌山市では和歌山城の北辺櫓群の復元を計画している。来年3月末までに古写真などの史料を募集している。和歌山市民県民にとって和歌山城の復元は関心事の一つであることは間違いない。しかし、復元に資する史料の蒐集できる見通しはまだ立っていない。この

稿では北辺櫓群について現状を、調査研究の観点から整理してみたい。

二の丸北辺の変遷

徳川期の二の丸は浅野時代には「御屋敷」として藩主の居住スペース或いは政務の場として存在した(図1)。御屋敷の東西の長さは現状



図1

浅野家記録に見える和歌山城の郭名(三尾功 近世都市和歌山の研究(1994)より作成)